

# 平和願いの独自ラベル

オリジナルラベルを付けたペットボトルを確認する生徒ら＝伊豆市の伊豆総合高



伊豆総合高2年生が平和を願うデザインした、オリジナルラベルのペットボトル入りミネラルウォーター16本が24日、伊豆の国市に工場を持つ飲料水製造販売の「エムアイフアクトリー」から同校に寄贈された。2年生は12月6～9日の修学旅行に持参し、長崎市の平和公園の記念碑に献水する。

同社による献水用のミネラルウォーターの無償提供は前年度に続いて2回目。本年度は

長崎・記念碑に献水へ

飲料水製造会社が協力

同社の提案で生徒たちがラベルのデザインに挑戦することになり、戦争について学んだ上で取り組んだ。イラストは花嫁姿で青いバラを手にする女性を描いた古屋凜花さん（大仁中出）の作品が選ばれた。古屋さんは「戦争に巻き込まれて死んでしまった花嫁をイメージし、平和を祈る気持ちを込めて描いた」という。

メッセージは水野颯さん（函南中出）が考案した「争いよりも涙よりも人々の平和と笑顔を」を採用、ラベル作製に当たり書道部員の佐野日渚さん（函南東中出）が清書した。

届いたペットボトルを確認した3人は「きれいなラベルができて、うれしい」と喜んだ。同社マーケティング部長の平川誠さんは「生徒たちのデザインにこだわりを感じた。地元の企業として、これからでもできることで協力していきたい」と話した。

伊豆総合高